

皆さんこんばんは！komodo Inc.でドラムを叩いている山崎浩二郎です！最近のあだ名は「はた迷惑」です！

5月になりましたね。GWも終わり、そろそろ5月病なんて言葉が出て来そうですが、僕は5月病なんて信じていません！気のせいです！というわけで今月も教えて！コモドインク！一緒に楽しんでいきましょう☆
1st single「JUICY」も物販にて好評発売中ですのでそちらもよろしくお祈りします☆



教えすぎちゃって！

今月のお悩み

岡部さんこんばんは！私は大阪府に住む高校3年生です。突然ですが、私には同じクラスに好きな人がいます。その人とは席も近いので、休み時間など話す機会もたくさんあるのですが、その人を目に前になると緊張しちゃうって、思っている事と正反対の事を言ってしまうことがあるんです(´_`)

家に帰って「どうしてあんなこと言っちゃったのかな」って反省する日もあります。どうしたら素直になれますか？

このコーナーでは、おただしに聞きたい事や、お悩み相談などを受け付けております。info@komodo-inc.comまでどしどし送ってね！

いいなー。席近いのいいなー。

もう甘酸っぱさ全開でニヤニヤしちゃいますね。(以下自粛)
そうだなー。こういう時は、一層の事、素直になるのを諦めてみるのはどうでしょう。そして、その気になる男子にある提案をします。「これから思っていることと反対のことを言う遊びをしよう」と。

するとどうでしょう。

質問者様はいつも通りなにも気にせず正反対のことを言えば本心が伝わる仕組みになるので。楽ちん！

そして、男子と気楽に話せる感じになったら、ゲームをするのをやめ、肩の子カラを抜いてその意中の男子とのトークをあるがままに楽しむのです。

「いつだって滑り出しは重い」(by city labo)ですが、かげながら応援しております。ぐっどらっく！

お た だ し の 回 答



リーダー林大輔の

エビでタコを釣る



いわゆるチェーンスマーカーと呼ばれるほどの愛煙家だった僕がタバコをやめてもう一年になる。

新しくタバコを買わないというシンプルな方法で禁煙に成功したのだから、周りの喫煙者からは英雄扱いを受けた僕だけど、どうにも辞められないものが間接喫らしである。

指が太くなるとか首を鳴らすと痺れや将来重大な障害が残るとか。そろそろ控えていかなければと思うんだけど、これがなかなか難しい。

グラブラー刃牙の登場人物にローランド・イスタスというジョイントフェチの男がいる。繋がっているものを外さずにはいられない間接喫の達人である彼は、理由をこう話す。「そこに間接があるからだ。」

偉大なクライマーはそこに山があれば男で登るし、孤高の釣り人は海があれば糸を垂らす。先人達の軌跡を、今日も間接喫らしに見るのだ。

林大輔



はやし だいすけ ●1987年3月1日、大阪府豊能郡出身。12歳の頃にギターに出会い、18歳の時からバンド活動を始めながら、作詞や作曲を行う。足が臭い。絵が下手。

コモドインクマンが送る、次回のライブ情報！

05/16(木)@大阪MUSE

「ピアノダイアグラム」

open / start 18:30 / 19:00

adv / door ¥2,000 / ¥2,500 (+1 drink)

[act] JOHANSSON / NIBIR / komodo Inc. / and more..

どうやらこの日は新曲も持っていくとの事ですぞ

コモドインクマン



ベース・ケロの 変な島で育つ



その土地に古くから根付いている独特な風習。人々は疑問も持たずにそれらを当たり前として生活している。ここでは私が都会に出るまで至って普通の出来事だと信じて疑わなかった習わしを紹介したいと思う。

季節は進み、秋の行事に「シーシャーがうがう」というものがある。旧暦の8月十五夜の日に宮古島市内の子供達は、ダンボールや布切れなどを使って、子供1人が優に跳ねられるくらいの特大シーシャーを作る。そして日が沈む頃にそれを持ち、商店街や住宅街を練り歩くのだ。

歩きながら子供達は「シーシャーがうがう」の儀式をさせてもらえそうなお店や民家に狙いを定めて、ひとまず大人から儀式の許可をもらい、それから本番に入る。

儀式が始まると、子供達は手づくりシーシャーを大きく振り回し、奇妙な動きをしながらカー杯「シーシャーがうがう！」と連呼するのである。熟れたグループには、三味線やパーラック(エイサーに使う方張りの小太鼓)といった沖縄ならではの楽器を使う者もいるが、大抵が奇妙な動きとかけ声だ。

そうして一通り叫んだ後は、仕上げに手づくりシーシャーの口を大きく開く。大人たちは感想を言いながら、シーシャーの口の中に小銭を入れるのだ。これが儀式の流れである。

海外でいうハロウィンのお祭りに近いといえば聞こえはいいが、仮装にお菓子といった可愛いものではない。ダンボールに布切れのシーシャーを振り回し、現金をねだるのだ。

しかし子供達にとっては、大切なお小遣い稼ぎの日なのだ。現に私も中学3年まで、この儀式で稼がせてもらった。当時はお小遣い欲しさにやっていた行事だが、シーサーの来訪によって厄払い、更に幸福が訪れるという意味を持つ、素晴らしい伝統なのである。

もし帰省中に「シーシャーがうがう！」と叫ぶ子供達に遭遇したら、気前良くお駄賃を口に入れてあげようと思う。

komodo inc.

http://komodo-inc.com/ info@komodo-inc.com twitter@komodo_inc